

脳卒中患者様ならびに骨折患者様の、服薬数増減における
関連要因および日常生活動作への影響の調査を目的とした、
当院に入院された患者様の試料・情報を用いた医学系研究に
対するご協力のお願い

研究責任者 所属 診療部 職名 医師
氏名 下村忠賛
実務責任者 所属 診療部 職名 医師
氏名 下村忠賛
連絡先電話番号 047-453-9000

このたび当院では、上記のご病気で入院された患者様の試料・情報を用いた下記の臨床研究を、当院倫理審査会の承認ならびに病院長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。

この研究を実施することによる、患者様への新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者様は、その旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

1 対象となる方

2018年4月から2019年10月までの間に当院に入院した、脳卒中ならびに骨折の治療のため入院し、リハビリなどを受けた方

- ・除外基準: ・他の回復期病院からの転院や、外来診療を経て入院された患者様
 - ・入院より2週間以内に転院または退院、死亡された患者様
 - ・当院から他院へ転院した後、当院へ再入院となった患者様

2 研究課題名

承認番号 240

研究課題名 回復期リハビリテーション病院における服薬数の増減と関連要因及びADLへの影響に関する調査

3 研究実施機関

東京湾岸リハビリテーション病院

研究責任者：下村忠賛（東京湾岸リハビリテーション病院）

共同研究者：川上徐行（慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室）

森直樹、西村典子、近藤国嗣（東京湾岸リハビリテーション病院）

4 本研究の意義、目的、方法

回復期リハビリテーション病院では、ご高齢の入院患者様が多く、多数の薬剤を併用（以下、多剤併用）している現状が問題となっており、薬剤の適正化が求められています。本研究は、入院患者様における、薬剤数の増減と増減した薬剤の内容、入院中に薬剤数が減少した方と減少しなかった方の特徴、及び日常生活動作との関連を明らかにすることを目的としております。診療録等より、入院時ならびに退院時の服薬数とその種類、基本情報（年齢、性別、診断名、併存疾患、発症日、入院までの日数、入院時の Mini-Mental State Examination スコア、入院時・退院時の FIM スコアなど）を抽出し統計学的な解析を行います。

5 協力をお願いする内容

本研究は、入院期間中の患者様の、服薬されていた薬剤の情報（薬剤数の増減や薬剤の内容）や基本情報（年齢、性別、発症日、入院日、疾患名、損傷部位など）、日常生活動作の介助量などについて、診療録から情報収集を行わせていただきたいと考えております。患者様に直接お願いする検査や問診などはございません。

6 本研究の実施期間

研究開始許可日から 2022 年 12 月 31 日まで

7 プライバシーの保護について

- 1) 本研究で取り扱う患者様の個人情報、氏名および患者番号のみです。その他の個人情報（住所、電話番号など）は一切取り扱いません。
- 2) 本研究で取り扱う患者様の試料・情報は、個人情報をすべて削除し、第三者にはどなたのものか一切わからない形で使用します。
- 3) 患者様の個人情報と、匿名化した試料・情報を結びつける情報（連結情報）は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また研究計画書に記載された所定の時点で完全に抹消し、破棄します。
- 4) なお連結情報は当院内のみで管理し、他の研究機関等には一切公開いたしません。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、試料・情報の利用の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

対応者氏名：下村 忠賛

所属：診療部

連絡先：t-shimomura@keio.jp

対応可能な時間帯：朝8時30分～夕方17時30分

（その他の時間帯も適宜ご対応致します）

以上